

長野中央西地区市街地総合再生基本計画(案)の 市民意見等の募集(パブリックコメント)の結果について

実施概要

募集期間：令和3年12月1日(水)から令和3年12月27日(月)まで

閲覧窓口：市役所(市街地整備課、行政資料コーナー)、各支所、市ホームページ

提出方法：書面(持参、郵送、FAX)、電子申請及び電子メール

募集結果

意見提出者 30者(個人・団体)

意見等件数 75件

対応区分	対応方針	件数
A	計画案を修正・追加する	10件
B	計画案に盛り込まれており、修正しない	5件
C	計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする	37件
D	計画案に反映しない	8件
E	その他(状況説明など)	15件
合 計		75件

◆提出されたご意見及び市の対応方針等の概要

A 計画案を修正・追加するもの

No.	意見概要	件数	修正(案)
A1	中心市街地のゾーニング・ネットワークの「裏路地エリア」の記述について削除を求める意見	1	中心市街地のゾーニング・ネットワークの「 裏路地エリア 」を「 まちなか交流エリア 」に修正する。
A2	新田町交差点周辺エリアの計画内容について、地域住民の理解が得られていないとして修正を求める意見	4	重点プロジェクト「もんぜんぷら座敷地利活用推進」について、具体的な利活用方法が決定しているような誤解を与えているため、表現を以下のとおり修正する。
A3	もんぜんぷら座敷地利活用推進について広場以外の活用を求める意見	5	<ul style="list-style-type: none"> 重点プロジェクト「もんぜんぷら座敷地利活用推進」の「導入機能」を「想定する導入機能」に修正する。 地区整備計画の内容を拠点エリアごとに整理し、重点プロジェクトを拠点エリアごとにまとめて記載する。
合計		10	

◆提出されたご意見及び市の対応方針等の概要

B 計画案に盛り込まれており、修正しないもの

No.	意見概要	件数	備考
B1	計画を策定する上で必要な視点に関する意見	2	SDGs、スマートシティ など
B2	具体的な施設整備を求める意見	3	中央通り歩行者優先道路、新交通システム など
合計		5	

C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とするもの

No.	意見概要	件数	備考
C1	エリアの設定に関する意見	2	重点エリア など
C2	計画を策定する上で配慮すべき事項に関する意見	2	ソフト政策の重視、交通の変革
C3	具体的な施設整備を求める意見	22	もんぜんぷら座敷地の利活用、長野駅周辺の開発 など
C4	具体的な施策の実施を求める意見	9	企業誘致、自転車シェアリング、景観規制 など
C5	計画の積極的な推進を求める意見	2	
合計		37	

◆提出されたご意見及び市の対応方針等の概要

D 計画案に反映しないもの

No.	意見概要	件数	備考
D1	エリアの設定に関する意見	1	長野中央西地区
D2	計画内容の削除・修正を求める意見	7	用語解説、想定される整備手法・活用制度 など
	合計	8	

E その他（状況説明など）

No.	意見概要	件数	備考
E1	現況と課題の分析に関する考え方や計画の策定方法などに関する意見	11	対象地区の現況と課題「人口」、「観光業」 など
E2	具体的な施設整備を求める意見	1	中央通り歩道の舗装の修繕
E3	具体的な施策の実施を求める意見	1	放置自転車対策
E4	市が策定する他の計画に関する意見	2	長野市中心市街地活性化基本計画 など
	合計	15	

◆個別のご意見等に対する市の考え方

A 計画案を修正・追加するもの 10件

No.	頁	意見要旨	市の考え方	対応区分・方針	
1	A2	—	<p>本計画の内容は、不十分な検討による前提条件と分析に基づき、市民合意のない具体策と、具体策も実現不可能な内容が散見される。市民に対する説得力が無いばかりか、誤解を招く表現が見られ、基本計画案としてほど遠いレベルである。</p> <p>「背景と目的」の中に新田町交差点周辺についての計画理由や目的に対する記述が全くないため、方向性や具体案が曖昧となり、計画の体を成していない。新田町交差点周辺については、これまで地域住民等から出された意見が全て無視され、市の都合のみで計画された案が提示されている。計画案の大幅な修正を要望する。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、中心市街地における現況の把握を行うとともに、地元の住民自治協議会や区、商店街の皆様との意見交換会の開催や市民アンケート等を実施し、皆様からいただいたご意見も参考にして計画を策定しています。</p> <p>新田町交差点周辺エリアについては、背景と目的において、中央通りや長野駅周辺の課題に加え、新田町交差点のもんぜんぷら座も含めた「公共施設等の建物の老朽化」についても触れています。</p> <p>また、地区整備計画において「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトに位置付けており、今後、具体的な活用方法について、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p> <p>なお、活用方法が既に決定しているかのような誤解を与えないよう、重点プロジェクトの記載について修正を行います。</p>	A 計画案を修正・追加する
2	A2	—	<p>本計画書は公式的な計画書の体を成していない。理由は以下に起因すると考える。①市民や関係団体の意見を全く取り入れていないため、現状との乖離が生じている。②現状把握で分析がないまま、その後の方向性や戦略が立てられているため、実現性がない計画になっている。③現場を見ないまま素人が机上で想像して記述した内容が中心になっている。④計画内容が広範囲で担当する市街地整備課以外の部門に踏み込んでおり、無理な計画になっている。</p> <p>本計画では地元商店街や住民の理解は得られないため、無理に推進しても失敗に終わることは間違いない。また、本計画の内容は、市の全部門と連携したプロジェクト方式でないと推進出来ないため、体制づくりから始める必要がある。</p> <p>新田町交差点周辺エリアについては、もんぜんプラザの耐久年度も迫っている等、緊急性が非常に高いので、本計画とは別に分離して推進することも考えるべきである。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、地元の住民自治協議会や区、商店街の皆様との意見交換会の開催や市民アンケート等の実施により、市民の皆様へのニーズ等を把握すると共に、中心市街地の人口や産業、土地・建物、交通などの現況の把握を行い、中心市街地の課題を整理しています。また、庁内関係課による作業部会を設けて検討を進め、必要な調整を行っています。</p> <p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において重点プロジェクトとして位置づけた「もんぜんぷら座敷地利活用推進」については、今後、具体的な活用方法について、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p> <p>なお、活用方法が既に決定しているかのような誤解を与えないよう、重点プロジェクトの記載について修正を行います。</p>	A 計画案を修正・追加する
3	A1	44	<p>「中心市街地のゾーニング・ネットワーク」については、本計画外の地域の方向性は決まっていないため、方向性を記述すべきではない。第四地区の西後町・県町・南県町地域の方向性を「裏路地エリア」と位置づけているが、住民感情を無視した大変失礼な記述である。記述を削除すべきである。</p>	<p>中心市街地のゾーニング・ネットワークの「裏路地エリア」については、人々の生活を支え、新たな価値を生み出す地域として設定するものであり、将来に向けたまちづくりがイメージできる名称とするため、「まちなか交流エリア」に修正します。</p>	A 計画案を修正・追加する

4	A2	48	<p>基本方針の基本戦略「暮らし」については、住民自治協議会に説明がないことを決定しているかのように記述するのは避けるべきである。「子育て・教育・福祉等・・・立地誘導」の記述は、地域としては求めている。また、「公園や広場のパブリックスペースを創出する」との記述も、今まで地域や関係団体等でも全く検討していない事項である。地域や関係団体に対して提案や話し合いも全くないまま、決定している前提で記述がなされている為、基本戦略以後に記述される「もんぜんプラザのあり方」等で現実的でないばかりか間違った内容の記述になっている。全面的な書き換え修正を要求する。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、地元の住民自治協議会や区、商店街の皆様との意見交換会を開催し、計画案についてご意見をいただきながら策定しています。</p> <p>暮らし分野に関する基本戦略については、長野中央西地区の基本方針の中で、生活に必要な機能の確保や人々の様々なニーズを満たす場や機会の創出を基本的な考え方として記載しているものです。</p> <p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において重点プロジェクトとして位置つけた「もんぜんぶら座敷地利活用推進」については、今後、具体的な活用方法について、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p> <p>なお、活用方法が既に決定しているかのような誤解を与えないよう、重点プロジェクトの記載について修正を行います。</p>	A 計画案を修正・追加する
5	A2	67 68 70	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画に関し、再開発事業の実施及び建築物整備に関する計画の「整備の方向性」は、住民自治協議会に説明が無い内容で反対ある。また、新田町交差点付近の整備の方向性に関して9月市議会で市が答弁した内容と、本計画に記載されている計画が全く違っている。全面的に書き直し修正を要求する。「重点プロジェクト」の内容に「観光」の視点が欠如しているため、意味の無い計画になっている。</p> <p>「地区施設及び公開空地整備に関する計画」については、市民に対して大きな誤解を生む可能性が高く、全面的に書き直しが必要である。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、地元の住民自治協議会や区、商店街の皆様との意見交換会を開催し、ご意見をいただきながら策定しています。なお、第3回の住民自治協議会及び区の皆様との意見交換会については、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、計画案を皆様に配布し、ご意見をいただく形としました。</p> <p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において重点プロジェクトとして位置つけた「もんぜんぶら座敷地利活用推進」については、今後、具体的な活用方法について、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p> <p>なお、活用方法が既に決定しているかのような誤解を与えないよう、重点プロジェクトの記載について修正を行います。</p>	A 計画案を修正・追加する
6	A3	68,70	<p>もんぜんぶら座の跡地には、近隣にセントラルスクウェアやTOiGO広場があるので、新たな広場は不要である。中心市街地の重要な場所なので、お金をかけても再整備する必要がある。この場所に市立図書館を移転し、子育て支援施設や学習スペース、会議室、音楽練習室、演劇練習室を備えた複合施設にすれば、中心市街地全体の賑わいに繋がると思う。また、カフェやレストラン、パン屋、コンビニのテナントが入れば更に良いと思う。近隣にスーパーがあるため、食料品店は不要である。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぶら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p> <p>なお、活用方法が既に決定しているかのような誤解を与えないよう、重点プロジェクトの記載について修正を行います。</p>	A 計画案を修正・追加する
7	A3	68,70	<p>もんぜんぶら座の跡地に広場は要らない。既存の子育て支援施設や学習スペース、会議室等の機能を残してほしい。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぶら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p> <p>なお、活用方法が既に決定しているかのような誤解を与えないよう、重点プロジェクトの記載について修正を行います。</p>	A 計画案を修正・追加する

8	A3	68,70	もんぜんぶら座のトマト食品館のスーパーとしての機能はどうか。アンケートでは憩いの場等を望む声が多いと聞いたが、スーパーの跡地に求めているものなのか疑問であり、再度アンケート行う必要があると考える。また、近隣にセントラルスクウェアがあるため、新たにオープンスペースを設ける必然性はないと考える。	新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぶら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。 なお、活用方法が既に決定しているかのような誤解を与えないよう、重点プロジェクトの記載について修正を行います。	A 計画案を修正・追加する
9	A3	68,70	もんぜんぶら座跡地をオープンスペースにするとの計画ですが、長野市は冬寒く降雪も多いため利用期間が限られ、近隣の広場も冬期は閑散としており、類似のスペースは必要ないと考えます。富山のグランドプラザのように、屋根があり冬場でも寒さを感じない快適な場にして頂きたいと思えます。オープンスペースの横には屋台村のような屋内のバル街を整備し、地元のお酒や食材を使った料理を提供するバルを募り、市内観光の滞留時間増加に役立ててはいかがでしょうか。	新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぶら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。 なお、活用方法が既に決定しているかのような誤解を与えないよう、重点プロジェクトの記載について修正を行います。	A 計画案を修正・追加する
10	A3	68,70	もんぜんぶら座解体後の活用については、TOiGOと合わせて活用を検討してほしい。地元商店街としては、広場や公園などのオープンスペースではなく、商業利用を強く望む。駅から善光寺までの中間点として、地元住民や観光客が集まる賑わいの拠点となってほしい。	重点プロジェクトに位置付けた「もんぜんぶら座敷地利活用推進」については、TOiGOを含めた既存の公共施設の配置見直し等を含め、検討を行うこととしています。もんぜんぶら座の具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。 なお、活用方法が既に決定しているかのような誤解を与えないよう、重点プロジェクトの記載について修正を行います。	A 計画案を修正・追加する

B 計画案に盛り込まれており、修正しないもの 5件

No.	頁	意見要旨	市の考え方	対応区分・方針	
1	B1	42	「中心市街地における街づくりの方向性」については、この方向性で進むことに異論は無いが、この概念が無いままマスタープラン等の各計画が進められてきており、上位計画との整合性が取れない可能性がある。 今後は、これ加えてデジタル化やSDGsの推進を背景としたスマートシティの方向性も必要だが、本計画にはその記述が無い。少なくとも長野駅周辺エリアや新田町交差点周辺エリアにはこの記述が必要である。	本計画の策定にあたっては、庁内関係課による作業部会を設けて検討を進め、上位計画や関連計画との整合を図っています。 SDGsについては、本計画においてもこれを念頭に置いて実施することとしており、基本方針において達成される目標を示しています。また、スマートシティについては、長野駅周辺エリアの整備方針の中で、整備の考え方としてスマートシティ実現に向けた検討を行うこととしています。	B 計画案に盛り込まれており、修正しない

2	B1	47,51	「長野中央西地区の目標・基本方針」については、今後の長野市財政は資金不足に陥ることは間違いなく、計画を遂行するためには「稼ぐ」方策を加味した基本方針でなければならないが、本計画には「稼ぐ」視点での記述が全くない。基本方針にその視点が欠けているため、実現不可能な計画になっている。「稼ぐ」視点での見直しを要求する。	「稼ぐ」という視点については、産業分野の基本方針を「新たな産業の振興と情報発信の強化」と位置づけ、基本戦略の中の「地域産業の振興」において、新たな時代を見据えた事業展開・サービス提供等により、商業や観光などの高付加価値化を図ることとしています。	B 計画案に盛り込まれており、修正しない
3	B2	57,58	長野駅周辺から新田町交差点周辺エリアまで広範囲にわたる再開発のため、各エリアを結ぶ交通機関が必要ではないか。長野駅から善光寺までの区間に新交通システムを導入してはどうか。	中央通り・沿道の整備方針に「歩行者のための環境整備」を位置付けており、この中で、まちなかの移動の利便性向上に寄与する新たな公共交通の導入を検討していくこととしています。	B 計画案に盛り込まれており、修正しない
4	B2	66	長野駅前周辺エリアの重点プロジェクトは、駅からペDESTリアンデッキでつなげれば便利だと思う。	重点プロジェクトとして位置付けた「(仮称)長野駅前B-1地区市街地再開発事業」において、導入機能として連絡デッキを検討しています。	B 計画案に盛り込まれており、修正しない
5	B2	71	観光都市ながのとして、末広町交差点から大門交差点までの表参道を歩行者優先道路とすることは、最重要課題だと思います。	中央通り・沿道の地区整備計画において、「中央通りウォークアブル推進事業」を重点プロジェクトとして位置付け、その中に「(仮称)中央通り歩行者優先道路化事業」を位置付けています。	B 計画案に盛り込まれており、修正しない

C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とするもの 37件

No.	頁	意見要旨	市の考え方	対応区分・方針	
1	C4	—	新田町交差点周辺の建物にとどまらず、長野駅前までの広いエリアでの再生をお願いしたい。建物を個別に構築するのではなく、中心市街地全体での再生を視野に入れつつ、「カク」となる物を確立してほしい。また、学生など若い人を街に取り入れるため、学生が集まりたいと思える場所や、学生が主体となって街づくりができる体制づくりを市管理のもと行ってほしい。	長野駅周辺から新田町交差点周辺までの中央通りを軸としたエリアを重点エリアとして設定し、この中に3つの重点プロジェクトを位置付けています。 また、新田町交差点周辺エリアの整備方針に「市民のための交流拠点整備」を位置付け、地域活動・交流促進に寄与する施設の整備・活用を図ることとしています。	C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする
2	C5	—	長野中央西地区は、当市の「まちの玄関口」として交通や商業、交流等の複合的な機能集積を図る上で非常に重要な拠点です。今後、当市の広域商業環境が大きく変化することも踏まえ、当該地域を重点的なエリアに設定し、具体化された事業を速やかに積極的に推進するべきと考えます。	限られた財源の中で効果的・効率的にまちづくりを進めるため、重点的に市街地整備等を実施するエリアとして重点エリアを設定しています。計画に位置付けた重点プロジェクトについては、具体化に向けて官民連携により推進して参ります。	C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする
3	C4	—	商環境の変化の中で、長野駅前地区を早急に変革させる必要があります。市民が誇れる街とし、国内外からの観光客の誘導等も考え、機能横断的な計画が欠かせません。他の地方都市では、インフラ整備はもちろん企業誘致などにも行政が積極的に関わっています。当地域を長野市の最重要エリアとして速やかに着手し、エリア内の関連事業にも支援をいただきたい。	長野駅周辺エリアは、本市のまちの玄関口として、多様な都市機能の集積により、魅力と賑わいを生み出していくエリアとして位置付けています。本市にとって重要なエリアであるため、関係部局が連携してまちづくりを推進して参ります。	C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする

4	C2	—	<p>内容がハード政策中心で、ソフト政策の内容が少ない。ソフト政策をもとに必要なハード政策をどうすべきか検討すべきである。</p> <p>ハードについては、実施主体や概算費用について記述しなければ、市民が判断することが出来ないが、概算費用を計画内容に提示するのは困難であることも理解出来るため、計画案では出来るだけハード政策よりもソフト政策の提示に止めておく必要がある。本計画にはその配慮が無いので、中途半端な計画になっており大幅な修正が必要である。</p>	<p>中心市街地におけるまちづくりの方向性において、これまでの「つくり方」を中心に考えたまちづくりから、「使い方」を中心に考えたまちづくりへの転換を図ることとしています。また、実現化方策の中で、ハード施策と一体となったソフト施策の必要性について触れ、ソフト施策の取組方針や取組内容を位置付けています。</p>	<p>C</p> <p>計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする</p>
5	C3	—	<p>現在の長野駅前には寂れて中途半端な感じであるため、東急百貨店やMIDORI周辺の古いビルを含めた、観光客や地元の人にとって機能的で魅力的な再開発を望みます。古い雑居ビルや派手な看板、MIDORI横の狭くて暗い通路など、長野の玄関口としてふさわしくないため、早急に解消してほしい。若者が買い物できるテナント誘致や、魅力的な食べ物、市場の要素をもったアーケード街、ゆったりと時間を過ごせる場所に加え、季節や長野の文化が感じられるような、全国に自慢できる開発を望みます。</p>	<p>長野駅周辺エリアの整備の方向性において、集客性・拠点性を高める施設の立地・誘導を図ることとしています。</p>	<p>C</p> <p>計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする</p>
6	C3	35,37,55	<p>全体の再開発事業計画について、市民ニーズやアンケートの結果に基づき、広域的に集客でき、賑わいある魅力的な商業施設の整備を望む。再開発事業の実績が多い民間企業や団体の意見を多く取り込み、市民が誇りを感じ、都会的な施設の整備を強く望む。また、駐車場と一体となった開発を強く望む。</p>	<p>長野駅周辺エリアの整備方針に「広域的な都市機能の集積・強化」を位置付けており、この中で、集客性・拠点性を高める施設の立地・誘導を行うこととしています。</p>	<p>C</p> <p>計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする</p>
7	C3	38	<p>中心市街地には多くの平面駐車場があり、有効活用できていません。商業施設整備や立体化して土地の有効活用をしてほしいです。</p>	<p>中心市街地の課題の一つに「低未利用の土地・建物の有効活用による都市機能の充実」を挙げています。個別の市街地整備事業については、本計画の内容を踏まえ、関係者と調整して参ります。</p>	<p>C</p> <p>計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする</p>
8	C4	47,51	<p>計画エリア全体を無料公衆無線LANが使える「フリースポットシティ」にしてはどうか。いつでもだれでも情報にアクセスできることで、地域社会で情報格差の増加を防ぐ手段になるとともに、すべての人の可能性を拓いていく有用な道具になると考えます。</p>	<p>産業分野における基本方針を「新たな産業の振興と情報発信の強化」とし、基本戦略の中にまちの様々な情報の取組・発信機能の強化を位置付けています。</p>	<p>C</p> <p>計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする</p>
9	C2	49	<p>基本方針の基本戦略「交通」については、将来的にも交通手段の主力は自動車であることは間違いないが、その構造や機能は、どのような変革をもたらすか判らないため、具体策を計画することは避けるべきである。少なくとも「様々な移動手段の導入と連携による利便性の向上」及び「交通関連情報の提供」の部分の記述に関しては、既に時代遅れの記述になっており、この戦略は削除するか全面書き直すべきである。</p>	<p>交通分野の基本戦略は、基本方針の「歩行者中心の移動環境創出による回遊性の向上」を目指す上で必要であると考え、記載しています。</p>	<p>C</p> <p>計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする</p>

10	C4	51	<p>コロナ禍におけるテレワークの浸透により、若者を中心とした地方移住への関心が高まっており、専門的なスキルを有する人材と、既存の市内事業者やコワーカーとの交流を生み出し、新たなビジネス創出や地域課題の解決につながるプラットフォームづくりや、そのためのオープンスペースの活用について検討をお願いします。</p>	<p>産業分野における基本方針を「新たな産業の振興と情報発信の強化」とし、基本戦略の中に多様な就業機会の創出を位置付けています。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
11	C1	52	<p>重点エリアの設定について、県庁通りの西側や東側は、低未利用地や空き屋、空きビルが多くなっている。跡地利用や企業の誘致、商業施設等を検討する必要があるのではないか。</p>	<p>重点エリアは、限られた財源の中で効果的・効率的にまちづくりを進めるために設定するものです。市街地整備等による高い効果が期待できるエリアとして、長野駅周辺から新田町交差点周辺までの中央通りを軸としたエリアを重点エリアとして設定しています。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
12	C4	49,55	<p>自転車の利活用促進として、DXに対応した自転車シェアリングを導入してはどうか。エリア内外を自由に気軽に移動でき、環境にも良い移動手段を提供する(電動自転車も含む)。かつての「みどりの自転車」をDXに適合させれば、事業者と行政・市民が協働してSDGsに叶う形で継続していける仕組みと考える。 また、人や自転車の道路網を整備してはどうか。自転車利用者の利用経路を調査し、利用の多い経路からモデル的に整備し、安全に移動できる暮らしの道路網を形成する。</p>	<p>交通分野における基本戦略の中に「様々な移動手段の導入と連携による利便性の向上」を位置付け、長野駅周辺エリアの整備の考え方の中で、自転車利用促進のための道路改修、施設整備等の検討を行うこととしています。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
13	C4	55	<p>まちの玄関口としての景観形成について、小規模な平面駐車場が多く、景観を損ねているのではないか。民間と協力しながら、再開発事業を行う際には、景観を損ねない地下駐車場を優先的に整備すべきではないか。</p>	<p>長野駅周辺エリアの整備方針に「まちの玄関口としての景観形成」を位置付け、この中で、街並みとの調和・連続性に配慮した建築物等のデザインの誘導を行うこととしています。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
14	C3	57,65	<p>数年前に長野駅と駅ビルがリニューアルされ綺麗になったが、その周辺はごちゃごちゃした印象でさびれている気がする。ランチや買い物ができるお店が少なく、子供連れでの長時間の滞在も難しい。屋上庭園や子供が遊べるオシャレな図書館等があると良いと思う。中途半端な再開発ではなく、大きな複合施設があれば、ゆっくりできると思う。デザイン性があり、きれいに緑化され温かみのある施設を整備してほしい。駅前から善光寺まで人が溢れ、散歩して楽しいと思える再開発を希望する。</p>	<p>長野駅周辺エリアの地区整備計画における整備の方向性として、集客性・拠点性を高める施設の立地・誘導を図ることとしています。 また、中央通り・沿道の整備方針の一つに「歩行者のための環境整備」を位置付けており、この中で、官民一体となった歩行空間の整備や、ベンチ等の歩行者利便施設の設置・更新等を行うこととしています。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
15	C3	65	<p>長野駅善光寺口駅前広場に面する小規模な雑居ビル群の再開発をお願いしたい。駅舎と比較して古臭く、調和が取れていないため、取り壊して近代的な高層ビルを建て、商業施設や飲食店などを入居させるべきである。</p>	<p>長野駅周辺エリアの地区整備計画における整備の方向性として、集客性・拠点性を高める施設の立地・誘導を図ることとしています。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>

16	C3	65,74	ながの東急百貨店の平面駐車場の立体化をお願いしたい。駅前の一等地であり、平面駐車場では勿体ない。立体化して収容台数を増やすことにより、周辺の交通渋滞が緩和され、また、中央通りを歩いて善光寺に参拝する観光客の駐車場としても使える。市とながの東急百貨店が協力して整備すべきである。	中心市街地の課題の一つに「低未利用の土地・建物の有効活用による都市機能の充実」を挙げています。ながの東急百貨店の駐車場については、地区整備計画図において、中長期的な市街地整備検討エリアとして低未利用地の高度利用の推進を図ることとして位置づけています。	C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする
17	C3	65	末広町交差点南西の市が所有する二箇所の駐車場を含むエリアは、事業者から市に対して再開発計画案が提案されており、末広町としても市に対して長距離バスのバスターミナルの移設や駐輪場を含む大型駐車場建設の提案を行ってきました。大型駐車場は、駅前の市街地再開発計画の附置義務駐車場を統合し、各事業の立体駐車場の負担を共有することで公開空地の有効活用に寄与し、公共空間の充実に貢献できると確信します。また、バスターミナルの移設は、現在、分散している長距離バスのバス停を集約することで、利用者の利便性向上と交通インフラのハブ機能充実につながることは明らかです。 実現に向けて官民共創の位置付けが不可欠であり、このエリアの開発計画を市の計画に加えていただきたい。	提案のエリアは、一部が重点エリアに該当しています。当該エリアの開発計画については、今後、権利者間の調整が進み、計画が具体化した段階で、市の計画への位置付けを含めて検討して参ります。	C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする
18	C3	65,66	長野駅前に大型ショッピングモールがあればと思う。長野駅前周辺エリアの重点プロジェクトは、小さな規模のものではなく、市民がワクワクして興味を持てるようなスケールの大きな再開発を期待する。	長野駅周辺エリアの地区整備計画における整備の方向性として、集客性・拠点性を高める施設の立地・誘導を図ることとしています。重点プロジェクトとして位置付けた「(仮称)長野駅前B-1地区市街地再開発事業」の推進にあたっては、本計画の内容を踏まえ、関係者と調整して参ります。	C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする
19	C3	66,69	再開発事業が計画されている地区に、お土産センターや地元スイーツ等飲食店街を併設した観光地(戸隠や志賀高原、上高地、白馬など)行き的高速バスのターミナル建設を提案します。	長野駅周辺エリアの地区整備計画において、「(仮称)長野駅B-1地区市街地再開発事業」を位置付けています。プロジェクトの推進にあたっては、本計画の内容を踏まえ、関係者と調整して参ります。	C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする
20	C3	67	駅と善光寺の中間地点に、文化・教育施設の配置検討をお願いします。県立美術館収蔵作品のサテライト展示や市民文化活動の展示発表などの場を設けることで、人の流れを善光寺周辺を中心とした点から、長野駅から善光寺までの線・面的なものへ変化させることが期待され、近隣商店の需要創出も期待できます。	新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。	C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする
21	C3	68,70	新田町交差点付近に善光寺参拝客用の施設の整備をお願いしたい。もんぜんぷら座敷地の後利用として、観光施設、バスターミナル、立体駐車場などの複合施設を整備すべきである。これにより、中央通りの歩行者数が増加し、沿道が賑わうことが予想される。	新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。	C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする

22	C3	68.70	<p>もんぜんぷら座敷地の利活用について以下を望みます。特に第四地区には無い公民館と、第一から第五地区共有の地域防災センターを望みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免震建物(東洋ゴム除外)、太陽光・地中熱利用 ・公民館、地域防災センター(避難所併設) ・子ども・高齢者・憩い交流の場 ・ボランティアセンター ・ミニ市役所の機能 ・図書館の分館 ・屋内スポーツ施設(卓球、ペタンク、トレーニングジム) ・屋上広場 ・屋内公園 ・時計台、長野銀座商店街 	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
23	C3	68.70	<p>もんぜんぷら座跡地の複合施設内において、金沢の近江市場や京都の錦市場、那覇の牧志公設市場などのような市場を設けてはどうか。市場は中心市街地の活性化や買い物難民対策、地域の飲食店の活性化や観光振興など、市民や観光客双方にとってメリットがあり、地元経済にも大きな効果が生まれると考える。公共交通や駐車場も充実しているため、集客においても問題ないとする。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
24	C3	68.70	<p>もんぜんぷら座のTOMATO食品館は、日々の食品購入の大切なスーパーであり、存続を強く希望します。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
25	C3	68.70	<p>もんぜんぷら座跡地に、運転手等の控室を完備し、お土産センター・地元スイーツ等飲食店街を併設した観光バス専用の立体駐車場の建設を提案します。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
26	C3	68.70	<p>長野市には他の中核都市に比べてシンボルとなるような高層ビルがないため、もんぜんぷら座の跡地にはシンボルとなるような高層ビルを建て、企業や大手ホテルを誘致して頂きたいです。また展望台を整備して、長野の美しい山々や町並みを見られるスポットにしてほしいです。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>

27	C3	68,70	<p>もんぜんぷら座解体後の施設については以下のとおり。 開設後は民間売却する。 地階は当面空き(予算あれば地域冷暖房・ごみ集積ハブ)、駐輪場、障害者等用駐車スペース、バス待避所。 1階は高速バスターミナル、路線バス停留所、タクシープール、有料公衆トイレ、足湯。 2階はランニングステーション、カフェ、観光案内所・休憩施設、コンビニ。 3階以上は備蓄施設、避難所兼会議室・イベントスペース・福祉教室利用。 屋上は屋上ビオトープ、飲食、展望スペース。 建築費用を抑えるため敷地を分割し不要部分は売却する。また、施設を人流のハブとするため、長野駅から新田町交差点間に往復モビリティを運行させる。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
28	C3	68,70	<p>もんぜんぷら座敷地の利活用については、虐待相談件数の増加や、ショートステイ事業等の利用の増加傾向に加え、人口減少と反比例して虐待が増加すると言われており、子育てをしている市民が集える場所が必須と考えます。子育て世帯が集まりやすい「憩いの場」を設置すると共に、隣接して児童家庭相談センターを設置して子育て支援等を行うなどの事業や、また、トライライトステイ等民間施設との共同による事業展開はどうでしょうか。イメージとしては、憩いの場を囲んで民間の相談場所とランチ等が出来る商業施設が一体となった子どもと親のための複合型施設の検討をお願いします。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
29	C3	68,70	<p>もんぜんぷら座敷地は、長野の気象条件を考え、年間を通して活用できるサードプレイスとして整備する。市立図書館のサテライトとして、DXに対応した学びの場、かつ居場所、異世代・異文化交流の場、市民協働支援の場、青少年の文化活動の場として整備する。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
30	C3	68,70	<p>中心市街地は長野の発展の要であり、この地域が大きな利益をつくらなければ長野経済は衰退する。もんぜんぷら座を中核として「もうける」施設をつくる事が必要であり、地元住民や事業者の意見を優先し、官民一体で計画を進めていただきたい。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
31	C3	68,70	<p>大規模災害に備えてもんぜんぷら座跡地などに防災公園機能を備えることも重要だと思います。マンホールトイレや炊き出し設備に加え、トイレトレーラーや入浴 TENT などが配置できるスペース確保など、まちなかの避難設備として想定する必要があります。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>

32	C3	68,70	<p>もんぜんぷら座の跡地利用について、導入機能を文化、交流支援等としていることに基本的に賛成ですが、「文化」に関しては、金沢市の21世紀美術館のような観光スポットになる市立の美術館にあたるものを建設するのが良いと思います。善光寺の観光客の誘導が図れ、市民や広域からの誘客により街の活性化につながると思います。「交流支援」に関しては、松本市の信毎メディアガーデンのような施設を1、2階につくり、上階は美術館を複数階にわたってつくり、テラス席なども設けて飲食店やショップなども併設した施設が望ましいと思います。景観に配慮しつつ、外観は特徴的なものが街のシンボルとして存在感が増すと思います。1、2階は一部を吹き抜けとし、イベントなどが行えるスペースや、観光案内所などを設置し、市民や観光客がくつろげる空間やピアノを置くのも良いと思います。既存施設の機能は、トイゴや権堂イーストプラザなどの施設に移すことが望ましいと思います。</p>	<p>新田町交差点周辺エリアの地区整備計画において、「もんぜんぷら座敷地利活用推進」を重点プロジェクトとして位置付けています。具体的な活用方法については、今後、市民や関係者の皆様のご意見をお聴きしながら検討を進めて参ります。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
33	C4	73	<p>文化・歴史を感じられる景観の形成・保全のため、中央通りを中心に屋外広告物の掲出方法や色、デザインについて、長野市屋外広告物ガイドラインの周知・徹底や、必要に応じて規制を行うなどの見直し検討をお願いします。</p>	<p>中央通り・沿道における地区整備計画において、景観・環境整備の規制誘導に関する計画を定め、規制誘導項目のひとつに「工作物・看板等」を位置付けています。 重点プロジェクトに位置付けた中央通りウォークアブル推進事業において、沿道商店街など関係の皆様のご意見をお聴きしながら、景観に関するルールづくりについても、検討して参りたいと考えております。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
34	C4	73	<p>中央通り(特に新田町交差点以北)は、まちの顔としての役割を担う道路であると考えます。中・長期的に十分な道幅を確保するため、沿道建物の建て替え時における後退規制について検討をお願いします。</p>	<p>中央通り・沿道における地区整備計画において、景観・環境整備の規制誘導に関する計画を定め、規制誘導項目のひとつに「外壁の後退距離」を位置付けています。 重点プロジェクトに位置付けた中央通りウォークアブル推進事業において、沿道権利者や商店街など関係の皆様のご意見をお聴きしながら、景観に関するルールづくりや空間の利活用についても、検討して参りたいと考えております。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>
35	C4	73	<p>中心市街地への個性的で魅力的な店舗集積と、居住人口の誘導を両輪で検討することが必要と考えます。具体的には、中央通りを中心とした沿道建物の改装や立て替え時には、景観に配慮した高さとしながら、低層階を商業、上層階を住居に誘導する施策の検討をお願いします。</p>	<p>中央通り・沿道における地区整備計画において、景観・環境整備の規制誘導に関する計画を定め、規制誘導項目のひとつに「建築規模・用途等」を位置付け、低層部はにぎわい創出や人々の活動・交流促進に寄与する用途とすることとしています。 重点プロジェクトに位置付けた中央通りウォークアブル推進事業において、沿道権利者や商店街など関係の皆様のご意見をお聴きしながら、沿道の建物に関するルールづくりについても、検討して参りたいと考えております。</p>	<p>C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする</p>

36	C1	74	整備計画図(重点プロジェクト)において、新田町交差点南東角の一角が中長期的な市街地整備検討エリアとして位置付けられているが、対象地は中央通りから離れており、南側には高層ホテルもあるため、整備範囲として適さない。また、長期的な土地の利活用を予定していることから、中長期的な市街地整備検討エリアから除外してほしい。	新田町交差点周辺エリアは、中心市街地の結節点となるエリアであり、本市のまちづくりにとって重要なエリアです。整備計画図に示す中長期的な市街地整備検討エリアは、概ねの範囲を示しているものであり、将来的に市街地整備事業等を検討する段階において、具体的なエリアの検討を行うこととなります。	C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする
37	C5	77~79	計画は素晴らしいが、絵に描いた餅にならないように事業を推進してほしい。これまでに策定された様々な計画が実現に至っていないが、これは、権利者等当事者の実情を把握していないからで、地元関係者の半数程度の納得感が必要だと思う。権利が整理されていない土地や様々な権利者の存在、相続の問題など、権利も多種多様である。 事業推進には不断の粘りと継続性、権利調整などエネルギーが必要である。主体性ある実働部隊を創設して事業を推進してほしい。構想の実現を祈ります。	重点プロジェクトの推進にあたっては、官民が連携してプロジェクトを推進していくことが重要であるため、「重点プロジェクトの体制づくり」において、民間と行政の役割や体制について示しています。	C 計画案は修正しないが、今後の取り組みにおいて検討又は参考とする

D 計画案に反映しないもの 8件

No.	頁	意見要旨	市の考え方	対応区分・方針	
1	D1	—	「長野中央西地区」が広すぎる。重点エリア外の県庁前や岡田町などは、地域住民が自らの努力によって発展させるべき。また、エリアを細分化しすぎており、小さなエリアごとに「暮らし・交通・景観・産業」を詰め込んで、発展は期待できない。役割を与え特区化することで、自らの責任で努力するようになる。企業誘致も怠ってはならない。	本計画の対象エリアは、長野駅周辺から新田町交差点周辺までの約72haとしていますが、限られた財源の中で効果的・効率的にまちづくりを進めるため、重点的に市街地整備を実施するエリアとして重点エリアを設定しています。重点エリア内には、長野駅周辺エリアや新田町交差点周辺エリア、中央通り・沿道などの拠点がありますが、各拠点ごとに地区の特性が異なるため、それぞれ整備方針を定めています。	D 計画案に反映しない
2	D2	—	計画案の中に必要性が低い記述が多いため、市民が計画全体を理解し難く誤解を招く計画案になっている。「現状把握」に必要なものは、事実に基づいた正確な分析であり、本計画ではその分析が全くない為、結果として後述の対策箇所の記述との整合性が取れない。「用語解説」は全く必要なく、むしろ本計画で使った関連資料項目を別添資料として提示すべきである。パブコメのために用語解説がどうしても必要な資料なら、本計画が決定した後は削除すべきである。無駄と思われる部分を再検討し、市民に対して判り易い計画案に修正して欲しい。	「中心市街地及び対象地区の概況」においては、各分野における統計データを基に記載しており、必要に応じて分析を行っています。用語解説については、計画の内容を正確にお伝えするために必要であると考えます。	D 計画案に反映しない
3	D2	—	本計画の内容は、対象外の地域にも及んでいるが、対象外の地域に対して何も議論や相談せず同意を取ることは不可能であり、本計画から除外すべきである。	本計画の対象地区である長野中央西地区は、長野駅周辺と新田町交差点周辺という二つの拠点と、まちの中心軸である中央通りを含むエリアで、中心市街地において重要なエリアです。このため、中心市街地全体のまちの将来像を描いたうえで計画を策定する必要があると考えます。	D 計画案に反映しない

4	D2	2~5	「上位・関連計画」は、簡略化して優先順位を付けないと本計画との関連性が判りにくい。詳細は付属資料でも良い。	本計画では、上位計画や関連計画との位置づけを示した上で、各計画の概要を記載しています。	D 計画案に反映しない
5	D2	6~13	「中心市街地のまちづくりの経緯」は、本計画との関連性が薄いので、本文に記述する必要性が無いと考える。付属資料の位置づけが良い。	中心市街地のゾーニング・ネットワークの検討において、これまでの中心市街地のまちづくりの経緯を踏まえて記載しており、必要であると考えます。	D 計画案に反映しない
6	D2	41	「世界的な潮流「SDGs」との関わり」は、本文に記述する必要性は全く無い。付属資料でもいらない。	SDGsについての記載は、本計画においてもこれを念頭に置いて実施することとしており、基本方針において達成される目標を示していることから、必要であると考えます。	D 計画案に反映しない
7	D2	60~64	「想定される整備手法・活用制度」は、本文に記述する必要性が無い。付属資料の位置づけが良い。	本計画は、市民や地域団体、民間事業者等の多様な主体が適切に役割分担してまちづくりを進めていくためのガイドラインとして策定するものであり、活用が想定される整備手法や制度等の概要について記載が必要であると考えます。	D 計画案に反映しない
8	D2	82~86	「用語の解説」は、全く必要ない。付属資料としてもいらない。	用語解説については、計画の内容を正確にお伝えするために必要であると考えます。	D 計画案に反映しない

E その他(状況説明など) 15件

No.	頁	意見要旨	市の考え方	対応区分・方針	
1	E4	—	長野市立地適正化計画、長野市観光振興計画、長野中央西地区市街地総合再生基本計画、第五次長野市総合計画後期基本計画等は、重複する内容もあり、本来一本化して検討を進めるべきだが、別々の部署で計画が策定されている。本気度が感じられない。	市の計画は、担当部局が目的に応じて定めており、上位計画や関連計画との整合を図るため、部局間で調整を行い策定しています。	E その他(状況説明など)
2	E4	—	長野市の額となる中心市街地全体の基本計画を作成し、基本計画に沿って集客・回遊ができるものを立案してほしい。	現在、中心市街地全体の基本計画として、長野市中心市街地活性化プランがあります。今後、国の認定を視野に次期中心市街地活性化基本計画の策定を検討して参ります。	E その他(状況説明など)

3	E1	—	<p>計画には各分野の将来予測が記述されている必要がある。本計画に必要と思われる将来予測の例を以下に記す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化及びEV化(CAGE化)の将来予測 ・観光客の将来予測 <p>駐車場や交通インフラ、産業、観光等の幅広い分野の課題に共通する重要な要素であり、各分野の専門家に意見聴取して記述すべきである。正確な予測は不可能であるが、現時点で推測可能なことは加えるべきである。</p> <p>長野市は善光寺への観光で成立しているため、観光による活性化も目的として加えた計画でなければならない。本計画には将来の観光客動向の記載がないため、将来計画の立案は出来ず、目的達成の為の施策を間違える可能性がある。追加修正加筆しなければならない。</p>	<p>情報化や技術革新については、将来どのように進展していくかの予測は難しいと考えていますが、「近年のまちづくりの潮流」において、社会・経済情勢に変化を与える要因としてとらえています。</p> <p>また、観光客数については将来予測は難しいため、統計調査の結果を記載しています。</p>	E その他(状況説明など)
4	E1	—	<p>本計画の内容は、関連部署との連携が取れていると思えない。計画を策定する市街地整備課の権限を超えた内容になっている。整備方針の基本となっている「暮らし」「交通」「景観」「産業」については、市にそれぞれ担当部署があるが、本計画の内容は他部署の業務に踏み込んでおり、「長野市マスタープラン」の位置づけになっている感がある。また、上位・関連計画との整合性が取れているのか疑問であり、少なくとも「産業」「観光」の分野で上位・関連計画との整合性が取れていない。内容を再検討し、修正しなければ計画推進が出来ないリスクが高い。</p>	<p>本計画は、長野中央西地区のまちづくりを官民連携で進めていくためのガイドラインとして市が策定するものであり、計画の策定にあたっては、庁内関係課による作業部会を設けて検討を進め、必要な調整を行っています。</p>	E その他(状況説明など)
5	E1	18,19	<p>「人口」の現状分析については、県立大学生と新築マンションの人口を除けば市街地の人口は減少しているが、本計画の記述では「中心市街地の人口は今後も増大する」という間違った情報を与えることになる。また、「長野地区の居住者」の定義付けが無く、何を言いたいのか判らない。</p>	<p>中心市街地の人口については、令和元年以降は減少傾向にあり、将来的にも減少していくことが予測されます。また、「長野地区」の居住者については、統計上数値を把握できる第一地区から第5地区までの範囲を「長野地区」と定義し、この範囲の住民基本台帳における人口を「長野地区」の居住者としています。</p>	E その他(状況説明など)
6	E1	22	<p>「観光業」の現状分析については、長野市の観光は善光寺に頼っているという分析が全くない。単なる数値の羅列だけでは記述する意味が無い。また、「長野地域」として定義があるが、前述の「長野地区」と変えて記述した意味の違いが不明である。使用した用語の統一が取れているか再検証が必要である。</p>	<p>観光業については、長野市内の観光地のうち善光寺が最も人気があり、市内観光客数の約60%を占めています。また、観光客数の推移を長野地域(長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村)とすることで、長野市の周辺市町村を含む広域なエリアにおいても、観光地としての善光寺の存在が大きいことを示しています。</p>	E その他(状況説明など)

7	E1	25	「地価」の現状分析については、本計画で必要な重点エリア毎の地価推移がない。南長野エリア全体での推移では意味が無く、その分析も無いのでは、重点エリアの整備方針の位置づけが出来ないばかりか、意味の無い整備方針になってしまう。	地価については、公示されている地点の地価をもとに作成しています。また、中央通りを含む本エリアの地価推移の傾向を捉えるため、南長野エリアの地価の推移を記載しています。	E その他(状況説明など)
8	E1	27	「中央通りの空き店舗」の現状分析については、単なる数値のみの記述で、空き店舗が増大した理由の分析が無いため意味が無く、後述の重点エリアの整備方針に繋がっていない。	中央通り等の空き店舗の経年変化については、令和2年度は平成22年度に比べて12件減少しています。	E その他(状況説明など)
9	E1	31	「歩行者数」の現状分析については、単なる数値の羅列であり、記述の意味が無い。「活性化」＝「歩行者数の増加」ではないことは経済学から見て周知の事実である。本計画には、歩行者数の増減の理由や、今後、何のために歩行者数を増加する必要があるか等の分析を記述しなければ意味がない。	歩行者数については、中心市街地活性化の指標の一つとして考え、記載しているものです。	E その他(状況説明など)
10	E1	32,33	「景観」の現状分析については、本計画に記述する意味が不明である。本計画の以後の記述にその対応策が全く出て来ていない。新田町交差点以南の「歩行者優先道路化事業」に必要なとすれば、表参道景観委員会等への聴取・分析を行う必要がある。	景観については、中心市街地の課題の一つに「善光寺門前町としての景観の統一」を挙げており、後述の基本方針等においても、まちづくりに必要な視点の一つとして捉えています。	E その他(状況説明など)
11	E1	34~36	「市民アンケートによるニーズ等の把握」の現状分析については、本計画に関係する内容が薄く、全く意味が無い記述である。アンケートの実施は大切であるが、本稿の内容ではアンケート手法や内容に不備があったとしか思えない。	市民アンケートは、中心市街地のまちづくりに関する市民ニーズを把握するため、中心市街地が抱える課題や中央通り歩行者優先道路化事業などに関して、市内に居住する16歳以上の市民2000人を無作為に抽出して実施したものです。	E その他(状況説明など)
12	E1	50,51	基本方針の基本戦略「景観」、「産業」については、今後の長野市にとって最も重要なことは稼ぐ力を如何に付けるか、であり、戦略策定は特に慎重に行い、絶対に間違いなく策定する必要がある。基本戦略は、市の全部門の総力を上げて策定する必要がある。「景観」や「戦略」の基本的な考え方の中で、目的が明確化されていないため、その後の「基本戦略」の意味がなくなっている。	基本戦略における基本的な考え方として、景観分野については、門前町としての歴史・文化を感じられ、憩いや潤いを享受できる景観・空間を創出することとしており、産業分野については、時代やニーズの変化に応じた新たな産業の振興や情報発信の強化による地域産業の活性化を推進することとしています。計画の策定にあたっては、庁内関係課による作業部会を設けて検討を進め、必要な調整を行っています。	E その他(状況説明など)
13	E3	52	重点エリアの「自転車等整理区域」のエリアの早期見直しを求めます。中央通りは放置自転車が長期間放置される事例が多発していますが、自転車等整理区域は交通政策課、中央通りは監理課が所管しており、担当課間での連携が出来ていません。中央通りの美化や安全な歩道創生のため、重点エリアでは自転車対策を考えてほしいと思います。2022年の御開帳までに対応を希望します。	中央通り(末広町交差点から新田町交差点)の放置自転車については、関係課がさらに連携し、適切に対応して参ります。 自転車等整理区域の指定(エリアの見直し)にあたっては、当該区域の近隣における自転車の放置を防止する対策が必要となることから、沿道の商業施設とも連携を図りながら、新たな駐輪場の確保も含めた検討を進めて参ります。	E その他(状況説明など)

14	E1	52～ 56	<p>重点エリアの設定及びその理由については異論が無いが、整備方針の内容、特に「暮らし」については、住民自治協議会の方針と全く違う内容で承服出来ない。この内容について住民自治協議会との討議は無く、協議会活動に対する越権行為で、削除を要求する。「新田町交差点エリア」については、「市民活動と情報発信により中心市街地の結節点となる地域」の位置づけのなかで、「人々の活動・交流の…が必要である」の部分は全て反対であり、記述の必要はない。また、「暮らし」に係る記述も全て反対である。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、地元の住民自治協議会や区、商店街の皆様との意見交換会を開催し、ご意見をいただきながら策定しています。なお、第3回の住民自治協議会及び区の皆様との意見交換会については、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、計画案を皆様に配布し、ご意見をいただく形としました。</p> <p>暮らし分野に関する新田町交差点周辺エリアの整備方針については、生活に必要な都市機能の立地・誘導のほか、地域活動や交流促進に寄与する施設の整備・活用を図ることとしています。また、産業分野の整備の考え方の中で、商業・観光施設のサービス充実を行うこととしています。</p>	E その他(状況説明など)
15	E2	57	<p>歩行者優先の美しい参道づくりを目指してほしい。中央通りの新田町交差点から末広町交差点まで歩道は、タイルが剥がれて散乱しており危ない。2022年の春までに補修等が必要な場所があります。</p>	<p>2022年春の善光寺御開帳に向けて道路のパトロールを実施し、歩道タイルの破損個所については、補修等を行う予定です。</p>	E その他(状況説明など)